

## 歴史愛好会 5月 苦勞の新田開発の跡と神社（戸部下地区）

総務委員会 広報

5月22日（金）午前9時45分に南区役所に集合し、歴史愛好会の鏡味代表の案内で戸部下地区の新田開発の跡と神社をメンバー4名で散策しました。

呼続大橋を出発点とし、道德までの道のりを、戸部下新田の郷土碑（神明社）⇒御替地神明社⇒道德稻荷社 の順に巡りました。

この地区は新田ができる前は海であったようで、江戸時代に干拓や埋め立てが進められ、現在の陸地となりました。干拓と埋め立ての違いをご存じでしょうか？埋立ては、他所から土砂を運んできて陸地化することで、干拓は堤防で囲ったりして陸地化することを指します。戸部下新田（1728年完成）の郷土碑は神明社の境内にあり、新田開発中に高潮などで堤防が決壊し、多くの苦勞を重ねながら完成に至ったことが記されていました。



神明社の鳥居



神明社の境内



戸部下新田の郷土碑

御替地神明社は道德新田開発（1741年完成）の翌年に創建された神社です。新幹線の高架が境内を通っているという、通常ではなかなか見られない景観を見ることができます。

さらに散策中には、高架橋の残骸も見られました。よく見ると、その残骸を利用した構造物もありました。昔のコンクリートは頑丈で処分費用も高いのでそのまま再利用されているのではないかとの説明もありました。調べてみると、これは計画されていたが諸事情により建設中止となった南方貨物線の遺構のようです。



御替地神明社の鳥居  
新幹線高架



御替地神明社の境内



御替地神明社の新幹線の高架橋

最後に道德稲荷社を訪れました。ここにある青峰山観音像は戦災で消滅したものを再建したもののことです。すぐ隣に名古屋市立豊田小学校があり、近年では小学校から姿を消しつつある二宮金次郎像が鎮座していました。

今回の散策で普段は気付かずにいる郷土の歴史に触れることができ、大変勉強になりました。

二宮金次郎像



道德稲荷社の鳥居



道德稲荷社横の名古屋市立豊田小学校